

3月 さくらんぼだより

社会福祉法人路交館 3月28日(木)

児童発達支援センターわかくさ 担当: もえちゃん(宮脇)

文責: いっしー(石田)

早いものでこのメンバーで過ごす最後の月となり、1日いちちをより大切に意識して過ごしてきました。

4月からまた新しい環境で子どもたち一人ひとり成長し続けてほしいと思います。

一年間の思い出



赤グループ

赤グループのみなんで過ごす最後のひとは色々な遊びや行事を楽しみました。みんなで遠足に行き広い室内で思い切り走り回って楽しみました。遠足に行くことを事前に伝えると「あした、えんそく?」と聞いてくる子もいました。また2歳児さんだけで近くのコンビニに行きおやつのお買い物にも行きましたよ。買う予定のお菓子を見つけたり、自分の好きなお菓子を手に取ったりと子どもたちの個性が出て楽しい買い物になりました。外遊びではしゃぼん玉を夢中で追いかけたり、職員と一緒にシャボン玉を作ったりしていました。そんな毎日の中で友だちと同じ遊びを楽しんだり、女の子同士で遊んだり、小さい子を意識してお世話をしたり、側に行ったりなど、子どもたちの関係も深まっていた。初めてさくらんぼに来た頃を思い返してみると、どの子も随分成長したと感じます。4月から新しい集団に入る子や、さくらんぼの新メンバーで過ごす子などそれぞれ生活も変わりますが、みんな楽しく過ごしてほしいと思います。1年間ありがとうございました。



白グループ

文責: おーちゃん(大山)

今の白グループの友だちと一緒に最後の行事として、キッズプラザ大阪にお別れ遠足に行ってきました。前日から遠足に行く話をしたり、一緒に館内を回る友だちと写真を見ながら遊ぶ場所を決めたりする中でみんな遠足を楽しみにしていました。いよいよ迎えた当日。キッズプラザに到着すると、初めての場所や大きな音に戸惑う子もいましたが、みんな遊び始めるととても楽しそうに遊んでいました。科学や文化のコーナーで色々な体験をしたり楽器を触りましたよ。お店屋さんで買い物をしたり、ごっこ遊びを楽しむ姿もありました。友だちに行きたい所を伝えて相談して決める姿や、他の園の子どもたちの中で順番を守って遊ぶ姿もありました。この1年間みんなで色々な行事や活動を楽しんできたことが、子どもたちにとっていい思い出になってくれたらと思います。1年間ありがとうございました。



職員からのメッセージ

この1年間、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。初めの頃は緊張や人見知りがありましたが、友だちや保育者と過ごしながら少しずつ慣れて、今では子どもたちから積極的に友だちと関わる姿が見られるようになりました。この1年間で子どもたち一人ひとりの成長を感じながら、保護者の皆様と一緒に喜び、共に見守ることができて嬉しかったです。

4月からそれぞれの新たな生活が始まります。子どもたちは新しい環境に最初は戸惑うと思いますが、焦らず一人ひとりのペースで、笑顔で過ごせたらいいなと思います。

みんなの笑顔が大好き!
一年間ありがとう
いっしー

みんなと過ごせて
楽しかったよ!
ここちゃん

今までありがとう!
これからよろしく
おーちゃん

たくさん思い出をつ
くれて楽しかった
よ! もえちゃん